

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	友和園耐震診断・改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	1	3	○
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	障がい福祉課			
施策	114社会参加に向けた障がい者(児)福祉の推進	担当課室長	斉藤 実			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	耐震改修工事の早期完了を目指す。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容
②①に基づく取り組み結果	耐震改修工事完了。	

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	鎌ヶ谷市福祉作業所友和園	意図(対象をどうするのか)	耐震改修により現行の耐震基準に適合させる。
②事務事業の概要	経年による老朽化の進んでいる友和園について、耐震改修工事等を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	現在の耐震基準を満たしていないことなどから利用者から早期の改修工事を望まれていた為、工事後は一層の施設の充実が図られる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	耐震改修工事により、現行の耐震基準に適合となり、施設の安全性が保障された。					
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	算定根拠
	i	上部構造評点	0.5	1.26	1.28	耐震基準
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算	
事業費(千円)	19,770	28,279	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)	1,864		28,279	友和園の耐震工事		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)	12,900					
一般財源(千円)	5,006	28,279				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	履行期間内に完了した。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	履行期間内に耐震診断・改修事業が終了したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	友和園耐震診断・改修事業	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	友和園耐震診断・改修事業完了。	0	28,279	当初	28,279	H25からの繰越	27,293
③達成状況	完了			H25⇒26繰越		27,293	
④未完了・非着手の理由				補正			現年分
		平成27年度への繰越額(単位:千円)					

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	自立支援給付事業に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	1	4	
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	障がい福祉課			
施策	114社会参加に向けた障がい者(児)福祉の推進	担当課室長	斉藤 実			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容		③平成27年度に取り組む改革・改善内容	国民健康保険団体連合会、社会保険診療報酬支払基金等からのデータ内容確認と障害福祉サービス提供事業者への適切な指導を行う。障害福祉サービスの給付を受ける者に対して適切な利用を促す。
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	法に基づく給付・支払等事務	意図(対象をどうするのか)	適切な給付・支払等の事務の執行
②事務事業の概要	自立支援給付、自立支援医療費等の給付決定と支払等			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	障がい者やその家族のサービスの利用希望等を勘案した上での適切な障害福祉サービスの給付に結び付けていくことが求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	国民健康保険団体連合会、社会保険診療報酬支払基金等からの支払い請求にかかる内容確認と障害福祉サービス提供事業者等への適切な指導を行い、適正な執行を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	障害福祉サービス等利用延べ人員	119,670	128,873	137,833	人	業務取得
	ii	自立支援医療費(更生医療)支払決定人員	48	63	65	人	業務取得
	iii	補装具支給件数	175	172	181	件	業務取得
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算		
事業費(千円)	984,316	1,111,311	金額(千円)	内容	1,228,126		
国支出金(千円)	474,630	549,100	863,124	介護給付・訓練等給付費	612,499		
県支出金(千円)	241,989	259,539	95,204	自立支援医療費(更生医療)	306,249		
市債その他(千円)	0	0	16,054	補装具費	0		
一般財源(千円)	267,697	302,672			309,378		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	介護給付・訓練等給付費などを中心にここ数年事業費は上昇傾向にあることから、利用者及び障害福祉サービス提供事業者等に対して適切な利用を促すなどして安定的な事業の運営に努める。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法に基づく給付・支払等事務を行うため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H25からの繰越	
		H25⇒26繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	平成27年度への繰越額(単位:千円)					

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	小規模作業所等の支援に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	1	4	
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	障がい福祉課			
施策	114社会参加に向けた障がい者(児)福祉の推進	担当課室長	斉藤 実			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	利用者に対するより一層の利便性の確保ができるよう指定管理者に指導していく。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	事業所の生産性確保の助言等を行う。
②①に基づく取組み結果	創作活動や生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を図る団体に対して助成を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	心身障がい者小規模作業所(地域活動支援センターⅢ型を含む。)	意図(対象をどうするのか)	地域に密着した小規模作業所(地域活動支援センターⅢ型を含む)の運営の安定化を図る。
②事務事業の概要	創作活動や生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を図っている団体に対して助成を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	地域活動支援センターⅢ型から法定事業所である就労支援系施設への移行施設が増え始めた。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	地域活動支援センターⅢ型事業所の円滑な事業運営を図るため、地域活動支援センターⅢ型を運営する事業者に対し、補助金を交付することにより、利用者の活動の場を確保した(H27.3末現在、施設数 6、利用者人数 31人)。						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	知的障がい者数	533	574	600	人	業務取得(手帳所持者数)
	ii	精神障がい者数	1,579	1,638	2,098	人	業務取得(手帳所持者数+自立支援所持者数)
	iii						
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳			平成27年度予算	
事業費(千円)	14,321	18,195	金額(千円)	内容		23,730	
国支出金(千円)			18,195	地域活動支援センターⅢ型運営費補助金			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	14,321	18,195					

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	就労継続支援B型事業所への移行から事業所の減少傾向がみられる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	地域活動支援センターを必要としている障がい者が増えているため、ニーズに応える。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績		当初		H25からの繰越		
		H25⇒26繰越				
③達成状況		補正		現年分		
		流用・充当				
④未完了・非着手の理由	平成27年度への繰越額(単位:千円)					